



大友 喬さん (86)
ふき江さん (80)
津山町・元町第一
1963(昭和38)年3月入籍

いつまでも元気で一緒に旅行へ

★二人のなれ初めは
【喬】仲人さんの紹介でお見合
いだったね。
★お互いの第一印象は
【ふき江】おどなしそうな人だ
なって思ったよ。
【喬】文通したんだげつと、こ
んなにきれいな字を書く人は、
どんなにいい人なんだろう。
この人なら、温かい味噌汁が
食べられるなと思った(笑)。
★結婚当時の思い出は
【ふき江】新婚旅行で山形に
行った時、宿から馬そりが迎
えに来たの。大雪で欄干から
1層くらい上まで雪が積もっ
ていて、渡るのがとっても怖
かったのを覚えてるよ。
★現在の楽しみは
【ふき江】二人でウオーキング
やグラウンドゴルフをしたり、
趣味のサークルに通ったり休
みなく出掛けるね。
★夫婦円満のコツは
【喬】グラウンドゴルフのプ
レーの内容を話したり、共通
の話題があるところだね。
【ふき江】お互いにその日の出
来事を話したり、裏表がない
ところ。
★これからしたいことは
【喬】二人でハゼ釣りに行きた
いね。いつも焼き干して、近
所にお裾分けしてるんだよ。
旅行も好きだから、神社仏閣
巡りに行くのが楽しみだね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさとへの胸懷」

私は旧桜場小学校の近く、
今は廃止になった、仙北鉄道
登米線沼駅のすぐそばで育
ちました。小学校に入るまで
は、よく停車場近くで遊んで
いました。小さい頃は、駅で見
掛ける高校に通うお姉さまた
ちに憧れ、大きくなったら自
分もここから電車で通う事を
楽しみにしていました。
残念ながら、1968年3
月に仙北鉄道は廃止。私が高
校に入学する前の事でした。
密かな私の夢は消えてしまっ
たのでした。しかし、後で分
かった事ですが、バス通学で
あれば高校の前まで行つてく
れるので、なんとも便利でし
た。今では懐かしい思い出に
なっています。
高校に入学して初めての授

佐々木 祐子さん(67)

東京中田会監事
中田町(大柳)出身(旧姓II佐藤)



業を鮮明に覚えています。そ
れは、古語で書かれた釈道空
(折口信夫)作詞の校歌を、古
文の授業で教わった事です。
「ひんがしによき国ありて
北上の遠山を 朝空に垣とせ
り 心すくなるよき人の 常
に和みて住むところ われら
清しく行き交いて 若き礼讓
里に充つ」という詞です。なん
と素晴らしい詞なのかと感銘
を受け、心に残っていました。
この事を夫に話すと、「折口先
生は多くの校歌を作詞してい
るが、君の学校の校歌は素晴
らしい」と褒めてくれた事が
ありました。
私事ですが、結婚式の時、折
口先生の弟子の弟子である夫
の恩師が、祝辞で「葛の花踏み
しだかれて色あたらしこの山
道を行きし人あり」と詠んで
くださいました。後日、夫に意
味を解いてもらった事が昨日
のように思い出されます。
ふるさと中田町には中学の
同級生でつくる「アカシア会」
があり、日々情報交換してい
ます。地元で運営を担ってい
ただき、同級生には感謝して
います。次は古希祝。今から皆
に会おうのが楽しみです。いつ
までもたっても、ふるさととは心
を豊かにしてくれるところで
すね。

おらほの産直

産地直売所
「いしこし大好き」



スタッフとお客さんとの掛け合いで生き生きした雰囲気
の店内は、自宅にいるような落ち着ける空間です。

今月は、産地直売所「いしこ
し大好き」の佐藤律子店主に
お話を伺いました。
Q「いしこし大好き」の特徴な
どについて教えてください
地域の直売所として、新鮮
な野菜や山菜、手作りの総菜
などを販売しています。
家庭的な雰囲気の店内は、
団らんのお場としても活用し
ていただいております。支
えられて、20周年を迎えるこ
とができました。
Q人気商品やおすすめ商品な
どを教えてください
これからの季節はやっぱり
山菜がおすすです。地物の



ご飯のお供に漬物類も人気
商品です

す。上棟式用の餅や祝餅など
も販売しており、もち米の持
ち込みにも対応します。店内
で手作りしているお弁当は、
旬の食材がたっぷり入ってい
て栄養満点。配達もしていま
すので、ご利用ください。
【問い合わせ】産地直売所「い
しこし大好き」
0228(34)3623



「りんごジュース」は冷やすと一層おいしくなります

ウドはほんのりとした苦みと
シャキシャキした歯触りで、
酢味噌あえや天ぷらにするこ
おいしく食べられます。
餅もファンの多い商品で
す。定番の納豆やあんこ餅の
他、エビ、クルミ、草餅など旬
の食材を使用し、その季節を
味わえるようないろいろなパ
リエーションを用意していま

短歌
まちの文芸

作品募集!
●5月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話
番号を記入し、3月31日(水)まで応募
ください。作品・氏名には全てふりがなを振
つてください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

哀願す穏やかな顔寂しさが
時に抗い気も不安げで
雁の泣く空を見あげて咳くは
ぶじに帰れよ寄り道するな
前を飛ぶ後負う雁が泣きながら
どこへ行くのと声高らかに
西の空眞つ赤に染めて日が沈み
羽音微かに水鳥の群れ
冬日和り真白き航跡の凜として
ひたすら西方へ青天ひとり占め

菅原たゑ子 (迫)
高橋 要子 (迫)
星 慶堅 (迫)
千葉 良子 (東和)
及川 慎一 (中田)

幼きの好物さしみ道の駅
やと買ったよ今夜幸せ
彼岸入り姑の好きなよもぎもち
土手の縁に春の日うらら
卒寿過ぎ寒さ痛さに悩まされ
春よ来い来い待ちどおしね
コロナ禍に「介護百人一首」終了す
残れる冊子読み返しており
トントンと旋律如き雪どけや
春よこいこい音を奏でる

千葉 洋子 (中田)
沼倉いね子 (中田)
本宮やつの (中田)
佐々木康子 (米山)
佐々木まき (石越)

応募総数25作品